

農林水産部



沖縄総合事務局新庁舎前でのテープカット



統いてBDF車両も出発!

E3ガソリン車両出発!

政府は、バイオマス・ニッポン総合戦略で明確化された国産バイオ燃料の生産拡大、バイオマスマッシュ構築の加速化等を目指し、各種施策に取り組んでいるところです。こうした取組の一環として、県内に眠る未利用のバイオマスを発見し、その利活用による地域活性化に向けた取組を実施する気運を盛り上げるため、沖縄

議会は、3月17日、国産バイオ燃料の利用拡大、バイオマスの利活用促進を図るため、E3ガソリン（さとうきびからできたバイオエタノールを3%混合したガソリン）やBDF（廃食用油を精製したバイオディーゼル燃料）を使用した車両で沖縄本島内を周回する「バイオ燃料キャラバン」を実施しました。

キャラバン出発式
キャラバンは、沖縄総合事務局新庁舎をスタート

地点とし本島南部を一周する南回りコース、国頭村役場をスタート地点とし本島北部・中部を縦断する北回りコースの二手に分かれ行われました。

量販店に立ち寄り、国産バイオ燃料、バイオマス利活用のPRを行いました！

キャラバン走行の途中、量販店6カ所に立ち寄り、国産バイオ燃料の利用拡大、バイオマスの利活用促進についてアナウンスを行うとともに、パンフレットやバイオマス商品を配布する等のPR活動を行いました。

量販店に立ち寄り、国産バイオ燃料、バイオマス利活用のPRを行いました！

キャラバン走行の途中、量販

店6カ所に立ち寄り、国産バイオ燃料の利用拡大、バイオマスの利活用促進についてアナウンスを行うとともに、パンフレットやバイオマス商品を配布する等のPR活動を行いました。

Point



バイオ燃料キャラバンで国産バイオ燃料の利用
拡大を訴えました！

国産バイオ燃料の利用拡大

利用拡大

キャラバン実施に先立ち、事業関係者の出席の下出発式が行われました。

主催者である沖縄バイオマス発見活用協議会 上野座長、事業を所管する沖縄総合事務局 福井局長からの挨拶の後、上野座長、農林水産部長、協議会の事務局であるNPO 亜熱帯バイオマス利用研究センター 新城理事長、バイオ燃料提供者のアサヒビール株 木下執行役員コーポレート研究開発本部長によりテープカットが行われました。

キャラバンで使用する燃料については、伊江村でさとうきびの糖みつを用いてバイオエタノールの製造研究・実証を行っているアサヒビール株、西原町で廃食用油を回収しBDFの精製・販売を行っている(有)村吉ガス圧接工業（西原町）から提供いたしました。

こうしたキャラバンを含めた協議会の活動は、農林水産省の「地域バイオマス発見活用促進事業」により実施されてきたものですが、平成20年度から「環境バイオマス総合対策推進事業」と名称が変わります。19年度に引き続きバイオマスの賦存量調査、普及啓発活動を行うとともに、新たに実地体験モデル事業を行うこととしており、事業計画は協議会が一般公募する予定です。



JUSCO、Maxvalu、サンエー等の量販店に立ち寄りました。



来店者に対しパンフレット、バイオマス商品を配布しました。